

みずほCustomer Desk Report 2016/09/20号(As of 2016/09/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	102.34	1.1157	114.20	0.9797	1.3015	0.7501
SYD-NY High	102.42	1.1198	114.25	0.9819	1.3092	0.7573
SYD-NY Low	101.58	1.1149	113.47	0.9784	1.2999	0.7473
NY 5:00 PM	101.91	1.1175	113.89	0.9801	1.3028	0.7534
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.095/12.5		△25RR	0.648	Yen Call Over	

NY DOW	18,120.17	▲ 3.63	債券市場	日本2年債	-	-
NASDAQ	5,235.03	▲ 9.54		日本10年債	-	-
S&P	2,139.12	▲ 0.04		米国2年債	0.7784	1.6bp
日経平均	-	-		米国5年債	1.2197	2.1bp
TOPIX	-	-		米国10年債	1.7118	1.9bp
シカゴ日経先物	16,330	5.00		独10年債	0.0160	0.9bp
ロンドンFT	6,813.55	103.27	為替市況	英10年債	0.8770	0.4bp
DAX	10,373.87	97.70		豪10年債	2.1170	1.0bp
ハンセン指数	23,550.45	214.86		USD/CNH	6.6660	0.0123
上海総合	3,026.05	23.20	商品市況	ドルインデックス	95.82	▲0.29
USDJPY 3M Vol	12.35	▲0.04%		CRB指数	181.639	0.86
USDJPY 6M Vol	11.76	▲0.03%		NY金	1,317.800	7.60
EURJPY 3M Vol	11.95	0.16%		WTI	43.300	0.27
EURJPY 6M Vol	11.86	0.09%		Dubai Spot	42.98	0.47

アジア	アジア市場のドル円は102.34レベルでオープン。東京市場が休日かつ、日銀金融政策決定会合やFOMC等の重要イベントを前に動意に欠ける展開が続く。アジア株式市場が堅調推移を見せたことでドル円も底堅く推移し、102円前半で小幅推移、結局102.05レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は小幅下落する展開。102.06レベルでオープン後、スellopsを巻き込みながら101円台後半まで下落。その後は、9月20日から21日にかけて開催される日銀金融政策決定会合や同日に行われるFOMCを控えて様子見ムードが強まり、結局101.82レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは横ばい。1.3037レベルでオープン。原油価格の反発や欧州株高を受け1.3076まで上昇するも、特段材料視される指標等も無く、1.3050レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	東京が休場で市場参加者が少ない中、ドル円はロンドン時間に102.00付近のストップを巻き込み下落すると、NY市場は101.82レベルでオープン。朝方は軟調な推移に一時101.58まで下落。しかし9月21日から開催される日銀金融政策決定会合とFOMCを控えて積極的に下値を追う展開とはならず、ドル円は下げ渋った。また、ベネズエラの政府関係者がOPECが増産凍結に向けて近づいているとの発言が伝わると、原油価格が上昇し、堅調に寄り付いたダウ平均を横目にドル円は下値をサポートされ、101.86まで値を戻した。その後は新規材料に欠く中、ダウ平均がプラス幅を縮小したことドル円は101.80付近でのレンジ推移となり、101.91レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは、1.1163レベルでNYオープン。朝方は一時的な米債利回りの低下を受けて、上値を試す動きに1.1198まで上昇。しかしFOMC会合を控えてこの水準ではドル買い意欲も高くユーロドルは反落し、その後ユーロドルは1.1170-1.1180の狭い範囲での推移から、1.1175レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月19日	17:00	ユーロ圏経常収支(季調前)	7月 21.0B	-
	23:00	NAHB住宅市場指数	9月 65	60

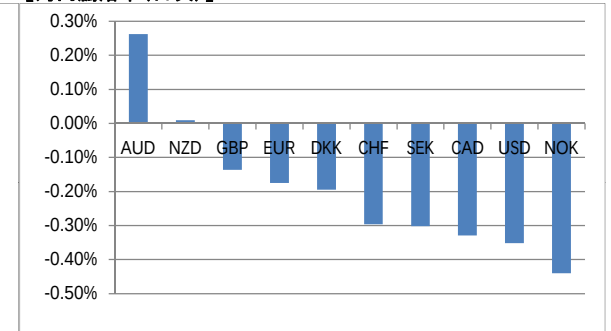
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月20日	-	日銀金融政策決定会合(-21日)	-	-
	10:30	RBA議事録	9/6分	-
	21:30	住宅着工件数	8月 1,190K	1,211K
	21:30	建設許可件数	8月 1,165K	1,144K
	-	FOMC(-21日)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.50-102.50	1.1150-1.1250	113.50-114.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、東京休日で市場参加者が少ない中、ロンドン時間には日銀追加緩和期待のドル円ロングポジションの投げもあり、101円半ばまで下落するも、ベネズエラの政府関係者のOPECが増産凍結に近づいているとのコメントに原油価格が上昇。これを受けて米株が堅調スタートで102円手前まで値を戻す。その後は米株がプラス幅を縮小する動きに101円後半で膠着。本日は、明日の日銀金融政策決定会合・FOMCを控えて様子見の状況ながらも、FOMCの利上げ期待が後退する中、日銀の追加緩和期待は依然残存しており、ドル円は底堅い展開を予想する。